



ご紹介します！ 『企業内家庭教育研修』

岐阜県では、家庭教育力の向上と地域社会全体での子育ての推進を目的に、企業・事務所と連携しながら、子育て中の親だけでなく、これから親になる従業員、子育てが一段落した従業員、管理職など幅広い層への家庭教育研修会を開催しています。この趣旨にご賛同いただき、2社での研修を開催しました。

(有) 名岐サービスセンター

令和元年7月2日(火) 10:10~10:30
〈研修のテーマ〉「コミュニケーションでつながろう
～互いのよさを認め合う～」
〈参加者〉20～50代の従業員 10名
〈講師〉中濃県事務所 振興防災係 村瀬 眞実
家庭教育専門職 後藤 由佳

一緒に勤める従業員がペアになり、お互いの名前を頭文字から始まる『褒め作文』を贈り合うワークショップを行いました。相手を思いやる気持ちや、日頃の感謝を言葉にして伝える、和やかな研修になりました。

【参加者の感想(一部抜粋)】

- ・今までにない内容の研修で良かった。
- ・研修中、ほとんどの人が笑顔で聞いていたので良かったと思う。
- ・社員同士でほめ合うことにより、明るい職場になっていくことと思いが良かった。
- ・現代、家庭での問題が多いので、少しでも減らせれば良い。

アイスブレイクで和気あいあい
研修スタート！



〈研修の様子〉



関市給食センター

令和元年7月19日(金) 11:00~11:30
〈研修のテーマ〉「しなやかな心で受けとめて
～ストレス軽減法を学ぼう～」
〈参加者〉20～50代の従業員 30名
〈講師〉中濃県事務所 振興防災係 村瀬 眞実
家庭教育専門職 後藤 由佳

関市内の学校が1学期終業式の日、研修を開催しました。5～6名でのグループ交流を通して、個々の物事に対する受けとめ方の違いを実感し、自分に合ったストレス軽減法を探る機会にいただきました。

【参加者の感想(一部抜粋)】

- ・いつも一緒に仕事をしている仲間とこういう話をするのがないため、とても良い機会だった。
- ・グループ別で、和やかに楽しく参加できた。短時間に内容が濃い講座だった。
- ・人それぞれ、とらえ方、考え方が違うと思った。ストレスゼロは難しいから、うまく付き合う自分の方法を探したい。

「おはよう」と声をかけたが、挨拶を返してくれなかった…あなたなら？



【あしがき】

秋の気配を感じる季節になりましたね。全国ニュースの猛暑ランキングでは、常連になりつつある岐阜県です。今年も暑い夏でした。朝晩の過ごしやすさと共に、夏の疲れも出やすい時期です。引き続き体調管理にはお気を付けてください。

秋冬の取組に向けて、準備に入られる学級長さんもみえることと思います。後期の家庭教育学級の取組について、訪問のお願いをさせていただくことがあるかもしれません。その際は、どうぞよろしくお願ひいたします。

また、「こんな取組をするよ！」「見に来てよ！」「うちの学級頑張ってるよ！」という、お誘いの連絡もお待ちしております。

みなさんが、楽しく参加できる取組にしたいと思っています！

がんばってね！

それはいいですね。困った時には、何でも相談してくださいね。一緒に考えていきましょう。



☆バックナンバーは「中濃県事務所HP」からダウンロードできます。

令和元年 9月発行
中濃県事務所 振興防災課 振興防災係
家庭教育担当：後藤
〒501-3756 美濃市生櫛 1612-2
TEL：0575-33-4011 内線 210
E-mail：q01656@govt.pref.gifu.jp

令和元年度 第1回美濃地区子ども応援会議 主催：美濃教育事務所

令和元年6月28日(金) 会場：岐阜県立関高等学校

テーマ 『子どもの笑顔と安心感を育む居場所づくり・絆づくり』～学校・家庭・地域が連携して～

〈参加者〉美濃地区教育長会長、関・郡上警察署生活安全課長、青少年育成推進指導員代表、少年補導員代表、小中高 PTA 代表、スポーツ少年団代表、主任児童委員代表、幼稚園・保育園代表、小中高等学校長、生徒指導関係者、子ども相談センター関係者、各市教育委員会関係者、中濃県事務所青少年担当・社会教育担当、家庭教育推進専門職、岐阜県環境生活政策課、岐阜県教育委員会

第1回子ども応援会議が岐阜県立関高等学校にて開催されました。50名を超える参加者は、授業参観、取組紹介、実践発表の後に、関高校生とテーマに沿って意見交流を行いました。様々な立場からこれからの社会に求められる大人像について考え、交流する貴重な機会になりました。

…【日程】…

- * 開会挨拶 美濃地区教育長会 会長 関市教育委員会 吉田 康雄 教育長
- * 授業参観 関高校 5 限目 全授業公開
- * 取組紹介 「家庭教育におけるいじめの未然防止の取組について」
岐阜県環境生活政策課 石原 学 生涯学習企画監
- * 実践発表 「小・中学校授業アシスタントについて」
岐阜県立関高等学校 平井 学 学校長
- * 意見交流テーマ これからの社会に求められる大人像
「どんな大人になりたいか、どんな大人になってほしいか」
(参加者の各小グループに1～2名の関高校の生徒が加わり、テーマに沿った意見交流)



【参加者の感想(一部抜粋)】

- ・学校、PTAだけでなく地域を巻き込んだ家庭教育学級の取組ができるといい。地域でのつながりが、家庭教育力を向上させ、同時に地域教育力も向上するのではないかと思います。
- ・家庭教育の保護者向けプログラムについては、参観日の学級(学年)懇談会での利用を検討したい。
- ・意見交流の場で、生徒たちが自分の考えや思いをもって前に進もうとしているのが分かり、それを応援できる周りの大人になることが大切だと思った。

◆家庭の教育力の向上を目指してH26に家庭教育支援条例が定められました。

【当日資料より(一部抜粋・改訂版)】



◆家庭教育学級の運営マニュアル、プログラムを参考にいただけます。



マニュアル・プログラム集 **みんなで子育て**

7 思いやり(小学校低学年～) 「いじめは絶対に許さない！」

2年生のなおちゃんには、いつも遊ぶ仲良しの友達があります。今日も、けいちゃんが家に来て、大好きなおもちゃ遊びが始まりました。少したつと、いつも一緒に遊んでいるあきちゃんもやって来ましたが、すぐに帰ってしまいました。お母さんがなおちゃんに、「あきちゃん、今日はどうして帰ったの？」と尋ねると、「けいちゃんが、あきちゃんを無視しようと言ったから、二人でやったの。」と話します。あきちゃんは、泣いて帰ったそうです。平気な顔で遊んでいる娘に、どんな話をしたらよいか困ってしまいました。

◆小学校低学年向け「いじめは絶対に許さない！」です。保護者に、わが子と向き合うことの大切さを再確認していただける内容です。

郡上市立牛道小学校

令和元年6月21日(金)開催

A:学校行事参加型「参観日」+
B:体験活動参加型「心肺蘇生法講習会」/「給食試食会」+
CD:子育てサロン型研修会「栄養研修会」



例年この時期の参観日に合わせて、複数の取組が行われているそうです。夏休みのプール当番に備えた救急救命法の研修では、命を守るための意識や技術向上を目指されています。また、給食試食会や朝食の大切さについて学ぶ栄養研修会を、夏休みの在宅取組へとつなげられ、年間テーマに沿った取組をされています。

◇テーマ 「親子で取り組もう！豊かな心と元気な体」
◇栄養研修会講師 金森 恵美子 氏 (栄養教諭)

<主催者の願い>

保護者の救急救命の意識を高めることと、家庭における食の意識を高めることを大切にしたい。

健康な体作りは、バランスの良い食生活から



【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・自分の覚えていた心肺蘇生法から変わっている部分が多く、今回の講習で確認ができて良かった。
- ・栄養講習では、栄養教諭から食の大切さについて話を聞くことができ、家庭での食事について考えることができた。
- ・給食のメニューはバランスを考えて作られているので、そのメニューと合わせて夕食のメニューを考えるようにしていきたい。

※学びポイント※

- ・保護者来校の機会に、いくつかの大切な活動を組み合わせて実施し、保護者の負担を減らす配慮をされていること。
- ・給食試食会や栄養教諭講話で、「食」への意識を高め、母親委員会が推奨する親子での食事作り体験、夏休みの在宅取組につなげられていること。

関市立小金田中学校

B:体験活動参加型「おやつ作り」+CD:講演会型子育てサロン「講演会」
令和元年7月3日(水)開催



4月のPTA総会で、「母親委員」を「家庭教育委員」に改名され、今年度の活動をスタートされました。小金田サロンと名付けられたこの日は、古田さん直伝のどら焼き作り後、馬淵先生からご自身の経験を交えた講話をお聞きしました。講話後には、心配事を気楽に交流したり、子育てについての悩みを講師の先生に相談したりする時間も取られました。どら焼きを試食しながらの交流は雰囲気も和やかで、参加者からは悩みが共有できたという感想も寄せられました。

<主催者の願い>

中学生になると、親との会話等が少なくなる。親子で一緒に取り組める活動を学び、今後の親子関係づくりに役立てたい。また、子育てについて気軽に話し合う場を設けたい。

- ◇テーマ 「親子関係づくりに役立てよう！スイーツ作り」
- ◇講師 古田 敦資 氏 (和菓子店 店主)
- ◇テーマ 「思春期の生活について」
- ◇講師 馬淵 淳子 氏 (小金田中スクールカウンセラー)



講師の手元を近くで見て学ぶ皆さん

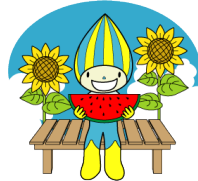
思春期、反抗期のお子さんの背中に向かって「おはよう！」で思いは届く

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・どら焼きの作り方を教えていただき嬉しかった。
- ・日頃の子どもの様子と、自分の接し方を振り返るきっかけとなった。
- ・SCのお話も、ゲーム依存症や子どもの話の対応など教えていただき、すぐに子どもと対話をしてみたい。

※学びポイント※

- ・家庭で親子関係づくりに役立てるとい活動のねらいが明確であり、「家で一緒に作ってみてください」という講師の言葉で、最後までねらいに沿った活動になったこと。
- ・スクールカウンセラーへの質問をあらかじめ付箋に書いて集め、その場で答えていただける貴重な機会を活かす工夫をされたこと。



活動を組み合わせて学びを深める！

幼 保 小 中



学校法人平田学園 旭ヶ丘幼稚園

B:体験活動参加型「給食試食会」+D:子育てサロン型「保護者交流会」

令和元年6月25日(火)開催

<今年度の役員皆さんの>

「子どもたちはどんな給食を食べているの？」という保護者の思いに答え、園との連携で給食試食会を実施されました。試食会後は、皆の顔が見えるように円になって座り、「保護者交流会」がスタート。役員さん手作りのお題カード(トークのお題が書かれています)を引き、お題に沿って話が進みました。話の後半には園長先生も、話の輪に加わられました。短い時間でも、保護者同士が打ち解けるきっかけになり良かったと役員さんは振り返られています。

◇テーマ 「給食試食会・保護者交流会」

<主催者の願い>

普段子どもたちが食べている給食の様子を知り、保護者同士が交流できる楽しい時間にしたい。



「得意な料理は？」
「今一番欲しいものは？」

メニューはカレーでした。

お題カード

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・普段子どもたちが食べている給食を実際に食べることができて良かった。
- ・いつも挨拶しかしたことのない保護者と話ができるいい機会になった。
- ・違う学年の保護者と交流できて良かった。

※学びポイント※

- ・試食会と交流会を合わせて実施し、保護者が様々な子育て情報を共有できる場にされたこと。
- ・終了時間を早めに設定し、下のお子さん連れで気楽に参加できるような配慮をされたこと。
- ・交流会では、役員さん手作りカードを活用して、短時間で保護者同士の交流が深まる工夫をされたこと。

社会福祉法人白東会 浄心こどもの城

B:体験活動参加型「バランスボール」+「給食試食会」

令和元年7月18日(木)開催

<今年度の役員皆さんの>

今年度、『親子で見直そう“健康の大切さ”』をテーマに活動されています。「お子さんの姿勢・口が開いた呼吸・歯並びなど、気になることのために、まずは親が正しい姿勢を学びましょう！」と、講師の話をお聞きしてから、活動に入りました。中盤には、運動の難易度も上がり会場全体が熱気に包まれました。給食試食会では、園の給食の方針や人気メニューについても説明がありました。気持ちの良い汗をかき、笑顔いっぱいになりました。

◇テーマ 「バランスボール&給食試食会」

◇講師 石井 ゆか 氏(一般社団法人体力メンテナンス協会岐阜支部長)

<主催者の願い>

バランスボールで体幹力をアップしながら、子どもの姿勢と口呼吸について親が学び、親子で健康に過ごせるようにしたい。また給食試食会では、園の給食をいただきながら親同士の交流を図る機会にしたい。



体幹を意識してバランスボールに座る皆さん



トマトオムレツ・カレー スープ・根菜サラダ (園児に大人気のサラダ)

【保護者の感想(一部抜粋)】

- ・子どもの呼吸に姿勢が関係していると知り、家でも気を付けていきたいと思った。いつも使わない筋肉を楽しく使えて良かった。
- ・子どもの集中力や歯並びについて気になっていたのを、これを機に姿勢についてよく見ていこうと思った。
- ・効率的な有酸素運動を学べて良かった。

※学びポイント※

- ・参加者全員が、バランスボールの体験ができるように、講師との連絡を密に取り準備をされたこと。
- ・6月には歯磨きの在宅取組を実施され、年間テーマに沿って、親子で健康についての意識を高める取組をされていること。

